

科目番号	10	科目名	SDGsと滋賀のグローバル・イノベーション -近江の暮らしとなりわい-	
英文科目名	Ohmi Studies of Community and Lifestyle			
大学・短期大学名	滋賀県立		大学	
連絡先	滋賀県立大学教務課(彦根市八坂町2500)			
	TEL :	0749-28-8215	FAX :	0749-28-8472
担当教員	上田 洋平 ( 地域共生センター 講師 )			
実施方法	対面授業			
教室名	講義室未定	会場	本学以外の会場(県庁等)で一部開講の場合もある	
授業期間	2022年8月19日(金)～2022年8月21日(日) <毎週 曜日> 時限・講時 9 : 00 ～ 18 : 00			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定期試験(筆記)	%		
	レポート試験(期末)	%		
	平常点(出席・授業態度)	%		
	その他(ワークブックへの記入ほか)	100 %		
別途負担費用	(なし)		あり( )円	
その他特記事項	大学外の会場で授業を行う場合がある(昨年度は初日に県庁で開講)。詳細は別途指示。			
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>				
<p>近江・びわ湖を深堀りすると、ひろい世界につながっていた——。加盟国の圧倒的賛成をもって採択された「SDGs(Sustainable Development Goals:2015年国連サミット)」をめぐる動きに見られるように、持続可能な共生社会の実現を目指す取り組みが、世界各国で加速している。滋賀県はこの潮流にいち早く呼応し、世界共通の目標を滋賀というローカルな現場で達成することに名乗りをあげ、注目を集めている。</p> <p>日本の縮図とも言われ、日本の歴史の舞台裏としても古来重要な位置を占めてきた近江。里山、人山、里湖、里島それぞれの風土に根差して鍛え上げられた近江各地のくらしとなりわい。そこには人々が、また、人と自然が「ともに、ここで、無事に」生きていくために必要な知恵と経験が蓄積されており、それらの多くは、単にローカルな経験に留まらず、持続可能な世界の実現に資する普遍的価値をもつ。</p> <p>当科目では、近江のくらしとなりわいの現場における様々ないとなみを事例として、持続可能な共生社会の実現に必要な知見を導き出すとともに、SDGsの考え方に照らして、ローカルな現場の実践・課題と、グローバルな実践・課題とがどのように関わっているのか、その関わりによって、どんな未来(グローバル・イノベーション)が実現できるのかについて、様々なゲストと共に議論する。</p> <p>(到達目標)</p> <p>(1)地域の風土とそれに根差したくらしとなりわいの概要や特質を、具体的な地域の暮らしや事業の事例を踏まえて理解し説明できること。(2)SDGsの考え方に照らして、グローバルな課題・目標とローカルな解決・実践とのかわりを理解し説明できること(3)持続可能な共生社会を担い創造する主体としての自己の役割と可能性について各自の意見を形成すること。</p>				
<b>&lt;授業スケジュール&gt;</b>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	8月19日	くらしとなりわい・SDGsと近江の“ビジネス”モデル		
2	8月19日	特別講義・SDGsと滋賀の挑戦:		
3	8月19日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題①		
4	8月19日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題②		
5	8月19日	くらしとなりわいの現場から—山・里・湖の現状と課題③		
6	8月20日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム①		
7	8月20日	小さな地球を体験する—SDGsカードゲーム②		
8	8月20日	特別講義・グローバルイノベーション・企業の挑戦		
9	8月20日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦①		
10	8月20日	くらしとなりわいの現場から—企業の挑戦②		
11	8月21日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造①		
12	8月21日	くらしとなりわいの現場から—コミュニティの再生と創造②		
13	8月21日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる①		
14	8月21日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる②		
15	8月21日	ワークショップ 新しい暮らしとなりわいをつくる③		
<b>&lt;教科書・参考書&gt;</b>				
授業の参考となるサイト SDGsTV(SDGsに関する映像・情報サイト)				